

第6回部活動地域展開推進会議 記録

2026. 5. 27

指導課

越谷アルファーズ 説明

兼職兼業については学校教育部指導課主任指導主事より説明

- ・時間外在校時間を教育委員会が把握したうえで、無理のない範囲で兼職兼業を認める。

市民協働部市民活動支援課長

- ・（越谷市における新たな地域クラブ活動モデル事業 越谷アルファーズ）事業について、参加した生徒たちが試合見学をさせていただいている。自分自身も観戦に行くが、その中で気になることとして、観客の口汚い言葉がある。Bリーグの理念として、選手・審判へのリスペクトについての映像が毎試合流れる。越谷アルファーズにも、Bリーグの理念に則った会場運営をお願いしたい。

市陸上競技連盟とのかかわりについて 市民協働部スポーツ振興課副課長

- ・市陸上競技連盟は、中学校部活動を集めて、練習会を実施している。今後、生徒の受け皿となる予定。現状としては、顧問も参加している。スポーツ振興課と市陸上競技連盟で今後の話し合いをする予定。その結果を指導課にも伝える。

剣道連盟とのかかわりについて 学校教育部指導課調整幹

- ・別紙のとおり

バドミントン連盟・レディースバドミントン連盟とのかかわりについて

学校教育部指導課主任指導主事

- ・スポーツ振興課を窓口に、かかわりをもたせていただいた。アルファーズ方式（モデル）で実施をしたいと考えている。ただし、シャトル代がかかることが懸念点であり、バスケットボールとの違いであることが分かった。

越谷市文化連盟会長

- ・教職員アンケート（資料8ページ）で、兼職兼業について、「いいえ」と回答している教員が20名いるのはなぜか？

→（事務局）

負担軽減を考えてのことだと捉えている。また、顧問はバスケットボールを専門としているものだけではないことも考えられる。

- ・教職員アンケート（資料9ページ）で、アンケートが見にくい。このアンケートは非常に大切なものである。よく見ると大切なことだとわかるが、見やすくしてほしい。

【協議記録】

○越谷市スポーツ協会会長

- ・部活動指導員はどういった人物か。

→（事務局）

- ・該当競技の経験者である。

- ・子供たちの要望を聞いて、少しずつ進めていってほしい。令和9年度の部活動指導員数についてはどのように考えているか。

→（事務局）

- ・学校のニーズに応じて配置する。ただし、予算次第ではある。

- ・部活動時の移動について、自転車のルールを周知したほうが良い。

→（事務局）

- ・（越谷市における新たな地域クラブ活動モデル事業 越谷アルファーズ）について、第1回はお伺いし、ヘルメットの着用等について声掛けをしている。また自転車の安全な通行については、県からの通知を各校に送付し、安全指導を行っている。

○越谷市レクリエーション協会会長

- ・（地域運動部活動推進事業について）ケガの場合、統括責任者とは連絡が取れる体制になっているのか。

→（事務局）

- ・統括責任者は地域運動部活動推進事業が実施されている時間を把握しているため、連絡は取り、対応してもらうことになっている。

- ・関西の知り合いに聞くと、兼職兼業で月8万円の収入があると聞いた。その金額をもらえるのであれば、自分もやりたいという教員もいると聞いた。お金のことを前面に出して進めたほうが良いと考えている。

- ・前に進んでいる感じがしない。

○越谷市文化連盟会長

- ・文化連盟としては茶道・華道・邦楽協会に、無償で協力していただいている。文化連盟に属している部数が減少している。予算を獲得するのは難しいと思うが、最低金額くらいはお願いしたい。市から補助金をもらってはいるが足りない。

○PTA連合会会長

- ・少しずつ進んでいるというように感じている。

- ・卓球やソフトテニスについても連盟が存在すると聞いている。こちらも教育委員会が主体となって、話し合ってもらいたい。

- ・どの競技にも顧問の先生の代表がいて聞いている。その先生方と連盟・教育委員会で話し合いを持つと話が速いのではないかと思います。
- ・剣道で示されていた高校生・大学生との合同練習はとても良い取り組みだと思う。進路選択の一助となるなど、双方にメリットがある。
- ・教職員に対して、アンケートを一斉にやるのはどうか。

○PTA連合会副会長

- ・運動部活動に焦点が当たっているが、文化部についてはどうか。

→（事務局）

- ・前提として、土日に活動している文化部活動は少ない。その一方で、どの中学校にもある日本伝統文化部については外部指導者が必ず配置されている。

- ・（越谷市における新たな地域クラブ活動モデル事業 越谷アルファーズ）について、中学校からバスケットボールを始めた未経験者についての配慮はあるか。

→（越谷アルファーズが回答）

- ・毎回テーマを設定して練習会を実施しているが、ついてこれないと判断した場合は、コーチ2名体制で実施をしているため、分けて対応をしている。

○PTA連合会副会長

- ・（資料17ページ⑦安全管理）について、統括責任者はどのような人物か。

→（事務局）

- ・会社の事務的な役割の方だと認識している。

- ・ハラスメント対策について、こどもたちは声を上げにくいのではないか。

→（事務局）

- ・こどもは学校の先生にも訴えることができるという認識である。

○PTA連合会副会長

- ・国、県、市も大変な思いをしている。そのような状況のなか、進めていただいていることに感謝している。

- ・（地域運動部活動推進事業について）すでに委託しているのか。

→（事務局）

- ・今後、競争入札をする予定。

- ・どのような会社が手を挙げているのか。

→（事務局）

- ・昨年度、委託させていただいた JR 東日本や柏市の地域展開に関わった会社等である。すでに実績のある会社について、依頼をする。

・期間について、令和9年1月31日までは短いのではないか。

→（事務局）

・年度内ですべて完結するようにしている。

→（事務局 指導課長）

・6月と9月に大きな大会がある。9月から1月であればそのような大会はなく、外部の指導者を入れやすい。

・委託業者の話について、この場で聞いてみたい。

・部活動の移動について、保護者送迎による車移動、バス移動はあるか。

→（事務局）

・原則、公共交通機関を利用する。

・バス事故があったが、安全対策はどうか。

→（事務局）

・バス貸し切りでの移動についてはあまりない。県通知に基づいて、確認することになっている。

・野球はどうなっているのか。

→（事務局）

・指導者が自分で指導したい顧問が多い。また、専門の指導者がいる。

→（事務局 指導課長）

・市内に限らず、野球とサッカーについては経験者が顧問になることが多い。越谷市においてはヤキュマチもあり、野球熱が高い。サッカーについては、北中学校に部活動指導員がいるが、この方は長く外部指導員をやっていた方が部活動指導員となったものである。

・指導者の確保が課題である。教員の兼職兼業も視野に入れなければ、この話は進まないと考えている。

○越谷市小学校校長会長

・お金の面が非常に大切であると認識している。教員の給与は国と県が支払っている。給与と同じようにこの話についても、国と市が給与を支払うべきであると考えている。小学校でスポーツ少年団の謝礼は負担をするのに、中学校部活動はタダであるというのは厳しい話である。また、令和13年がゴールならば、やれることをやるべきである。

○越谷市中学校校長会

・地域移行の時には、教員の働き方改革の話だったので、部活動指導員の配置で十分だと捉えていた。働き方改革の視点だけを見れば、部活動指導員が配置されることで学校は

非常にありがたいと感じていた。ただし、現在は地域展開となっている。そのため、この会議についても学校以外の受け皿をどう増やすかということを経験にしたほうが良いのではないかと。

- ・先ほどから、土日の部活動は無償だという話が出ているが、実際には3時間で2700円が支払われている。ただし、練習試合を1日行ったとしても2700円である。
- ・現在は、中体連の大会もクラブチームが出られるようになっており、大会の名称も変わっている。保護者や子供が部活動化クラブチーム化を選択する時代である。部活動は無償だと言われているが、部活動でもそれなりにお金はかかる。